

# 議事録要旨

会議名	第3回芦原温泉駅まちづくりデザイン部会
開催日時	平成28年8月29日(月) 19:00~21:30
開催場所	aキューブ
出席者 (敬称略)	<p>【部会員(12名)】 福井工業大学/川島洋一(教授)、市民/笹原修之、西田幸男、高木めぐみ、八木康史、森嗣一郎(21時から参加)、あわら市/長谷川義則、中辻雅浩、山本紹央、細川正樹、坂井真生、竹内優美</p> <p>【デザイナー(3組)】 小津誠一(E.N.N.)、伊藤孝紀(TYPE A/B)、山中コ〜ジ・山中悠嗣(GENETO)</p> <p>【オブザーバー(6名)】 日経BP社/高津、大広/菱田、新島、大広北陸/越智、渡辺、言葉や/杉田</p> <p>【事務局(3名)】 あわら市総務部政策課/小嶋(課長)、山口(課長補佐) 赤神(主査)</p>
欠席者 (敬称略)	
協議事項	<p>市民ワークショップ</p> <p>Q1. 新芦原温泉駅周辺を自分たちの力で盛り上げる方法(人が集まるためのソフト事業) グループワークの結果をプレゼン+デザイナー講評</p> <p>Q2. 新芦原温泉駅周辺を盛り上げること(Q1)を実現するために必要なハードや仕組み(行政に一つだけお願いできるとしたら) グループワークの結果をプレゼン+デザイナー講評</p>
会議内容 の要旨	<p>部会長挨拶: 新幹線福井開業に向け、地域に住む我々が、何が出来るか、何をしなければならないかを考え、7年後のあわら市を作る元となる可能性があります。ぜひ積極的な発言をお願いします。</p> <p>オブザーバー/市民アンケートの結果を紹介 「将来のJR芦原温泉駅周辺」にどんなものが欲しいものでは、いちばんに来ているのは商業施設や買い物、利便性など、賑わいや活気も入れています。 「幸せを実感できるまち」の回答では、活気や賑わいといった点、人に分類させてもらった多世代・つながりなど意見がありました。利便性というのもありますけれど、この結果は重要かと思い、説明させていただきました。</p> <p>進行役: これからどういった話し合いをすすめていくかというお題を出させていただきます。新幹線が来るまでに7年という期間があります。この7年という期間は、オリンピック開催地の決まる期</p>

# 議事録要旨

間でもあります。7年の間にどこの状態まで持っていくかを考えていただきたいと思っています。賑わいとかアンケート結果がでていますが、駅は観光客が増えたりや地元の人の動きが集まり人の交流を深めていくところなんです、現実はどうでしょうか？外から来た人は愕然とするでしょう。コンビニもあった、時代もあった。

アンケート結果をみますと、商業施設等見受けられますが、進出する企業からするとマーケットがないため進出しません。お金がないところには進出しません。いまは自分たちができる事を考えていただくしかないというのが現実です。

この駅前を活用しながら何をしたいのか、の意見をください。自分がやりたいこと、自分が責任を持って出来ることの議論をお願いします。それぞれアイデアを出していただいて、ポストイットを模造紙に貼ってください。それをグルーピングして議論の後、グループで発表していただきます。

必ず全員が発言、人の意見に対して批判的な発言は無しで、プラスになる様な進め方をお願いします。各テーブルには部会員さんがいますので話をまとめる形になります。

前にいる三名は今後、あわら市をサポートするデザイナーです。今後このまちをどうしていったらよいかの絵を描く事業をしています。具体的な提案を含めた絵を描いていきます。

30分間の時間となります。 19時50分で

事務局から指摘あり、進行役補足

駅のデザインではなく、エリア全体を考えてください。

\*\*\*\*\*

A班(7名)

B班(9名)

C班(8名)

D班(9名)

E班(11名)

F班(7名)

\*\*\*\*\*

## Q1. 新芦原温泉駅周辺を自分たちの力で盛り上げる方法 (人が集まるためのソフト事業)

### <各グループ発表 発表順>

#### A班 「目を覚ませ！あわら」

・既存店舗の活用、まち歩きできる市場をつくる、aキューブを活用する、竹田川・自然をいかすという意見が出た

・具体的には、

空き店舗を埋めて1日商店街

特産品を試食できるフリーマーケット

# 議事録要旨

<p>駅前でおかみ体験（あわら温泉を感じるプログラム）</p> <p>定期演奏会・定期市を開く</p> <p>カヌーで竹田川を清掃する...など</p> <p>・総括すると、目の前にいいものがあるので、それを生かそう</p> <p><u>B班「駅前で盛り上がる」</u></p> <p>ダンボートレース復活、川カフェ</p> <p>アートの常設展示</p> <p>野良打ち</p> <p>祭り 熱くなる感じをもっと広げたい</p> <p>足湯カフェ（芦原温泉らしさ）</p> <p>これ以外に静けさも捨てがたいという意見も。</p> <p><u>C班「住んでいる人が楽しめる空間時間」</u></p> <p>・“あわらしい時間が過ごせるところ”が駅前になればいい</p> <p>・イベント（バザー、フリーマーケット）もあわらしくできればいい</p> <p>・場所と場所（駅と学校とか）の間があわら市はつながっていない。</p> <p>・間 叶い（まかない）＝あわらをいろいろつなぐ場所ができるといい。</p> <p>・あわら温泉にあるものを駅前でやっても意味がない。温泉と駅周辺をつなげていけるものを。</p> <p>カフェ、屋台、お花屋さんなど憩える場</p> <p>ダンボートレース復活</p> <p>ウォーキングコース</p> <p>いらない本、空き店舗を利用した子どもたち向け図書館</p> <p>ちはやふる展示館...など</p> <p>・人と人をつなぐ＝お宝まち歩きガイド</p> <p>自分たちのまちのことを意外と知らない。</p> <p>日常がよその人には特徴的だと再発見できる、住民も観光客も根っこになれる場所があるといい</p> <p><u>D班「たまり場計画」</u></p> <p>・金津夏祭りの川のたまり場</p> <p>・商店街空き店舗活用したたまり場</p> <p>・食べあるきできる店をチャレンジショップ形式で開く</p> <p>・壁に映画を映す</p> <p>・駅前広場で祭り（納涼祭）</p> <p>・たまり場を作って人を集める</p> <p>・最初は地元から発展させて全国に発信できれば</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 議事録要旨

## E班「わたしたちと創るあわら」

- ・イベントの開催（音楽・スポーツ・ゲームなど）
- ・地元の人で盛り上がっていないと観光客来ない
- ・飲食店もイベントも市民が集まって盛り上がるものを  
食べ物 = 駅舎内に福井の地酒が飲める立ち飲み屋 B級グルメ、地元飲食店の2号店出店
- ・ドラフト初の実店舗（感触を確かめられる）
- ・温泉行きのバス停を水口に移設 = 観光客を強制的に商店街を歩かせる
- ・駅前に田んぼ 稲の状態を見て季節を感じてもらおう 田植え、稲刈りイベントも
- ・竹田川を生かしたまちづくり

## F班「空き家を活用し、様々なものを有機的に結びつける」

- ・そもそもどんな空き家があって何に向いているかわからない（カフェ向き？ 宿泊向き？）
- ・空き家の見学会、オーナーとの橋渡し会をしてはどうか
- ・空き家情報の共有
- ・竹田川の風景を活用 ダンパーとレース復活
- ・ペットが遊べる公園を河川敷に
- ・農産物の販売
- ・ちはやぶるのロケ地をめぐる写真スポット
- ・ポケモン GO で集客

### < 講評 >

- ・川を取り上げているグループが3つあって気になった
  - ・駅前と温泉街の間を埋める 良い言葉
  - ・観光の前に住民 観光でしか食えないまちは災害があると一瞬にして終わる・危険
  - ・空き家を活用して有機的に結びつける 僕が出そうと思っていたアイデアに近い
  - ・ダンパーレースの復活 そんな魅力的なものがこのまちにあったのか、皆さんも望んでいると思った
  - ・お祭りのなものは重要。京都なら祇園祭、五山の送り火など、生活している中でメリハリが出る。季節を感じられる、面白い
  - ・E班の駅前に田んぼをつくる案は面白い バス停を水口に移動するのも面白い
  - ・幸福度ナンバー1福井県 なぜそうさせているのか？ワークショップでわかったこと。あわら市は市民と役所の人々が真剣に話し合っている。それが幸福感につながっているのでは特にいいと思った意見
- C班：場所と場所の間をつかっていく 分析ができていていい
- C班：日常が魅力的なのを再発見できる 素敵なキーワード

# 議事録要旨

F班：どんな空き家があるか知ることが大事

- ・国交省の空き家ネット（全国のデータベース化）を活用すれば、空き家を使っているような問題を解決できるかも
- ・イベントやお祭りなどいろんな案が出たが実際にはできていない。それはなぜか？住んでいる人はなくても暮らせるから。（地元の）やる気のある人が集まることは必要だけど、よその人をどこまで巻き込めるか
- ・空き家をいかに活用して、地元だけでなくいろんな人に住んでもらうか。それが活気につながるのでは。
- ・あわらはやる気のある人が多いので可能性を感じる
- ・アートイベントもあわら独自のやり方でできると可能性が出てくるのでは。
- ・“あわらしい”というキーワードが出たがどうかことか、僕も知りたい。
- ・“あわらしさ”を地元の人が楽しいだけでなく、外の人にどう発信していくかも大事
- ・質問：駅前にロータリーは必要？ 必要と思う人 11人 / いらなと思う人 25人

Q2. 新芦原温泉駅周辺を盛り上げること(Q1)を実現するために  
必要なハードや仕組み（行政に一つだけお願いできるとしたら）

## <各グループ発表 発表順>

C班 「あわらみちくさ無楽里（ぶらり）」

- ・交通システムの提案  
バス停、道の構造の改革（歩く道、回遊できる道、一方通行など）でまちをつなげる、歩いてつなげる、駅前と温泉街とつなぐことができれば。
- ・芦原温泉駅の前道を一方通行にしたいということから始まり、
- ・旅館が迎えにくるバスを廃止して、バス停の位置を水口にずらし  
一方通行にすれば歩道を広くしたり、木を植えたり、駐車スペースができる。

E班 「巨大総合複合施設の建設」

- ・高い旅館ではなく健康ランド感覚で止まりたいという需要がある
- ・バイクでツーリングしている人、クラフトマーケットにくる若い人などは豪華な食事は求めている
- ・複合施設に観光ブースや地元の人が気軽に行ける足湯やスパ・マッサージ、あわらのグルメが楽しめる施設など6階建てくらいでできればいい
- ・地元の人が行きやすいよう年間パスを発行
- ・親戚や友達が来たらパスを譲渡して安く泊まれるように

D班 「人が集まる場所をつくってもらう」

# 議事録要旨

- ・屋根がある空間 フリーマーケットやイベントができるような空間を
- ・あわらしさ これからみんなの情熱で作っていく
- ・7年後にはそれなりの形になり、10年、20年後にはあわらしいものが作れるのでは  
高津さんより...課題山積、丸投げ感が強い。今後、委員会を作って継続的に活動をお願いします。

## B班 「(サッカー場・無料温泉・IC、あるいは空き家活用といった、外から集客が見込める)核施設」

- ・あわら市の人口約3万人 いかにか外から人を呼び込むようにできるか議論した
- ・核施設(サッカー場 無料温泉)という意見も出たが、お金をかけている場合ではない
- ・空き家ネットの充実ならすぐできる
- ・あわらの空き家の安さ、治安、アクセスの良さ(新幹線とまる、インターチェンジもある)を  
売りにして空き家ネットで人を増やす。ポテンシャルはある
- ・ハードに頼るのではなく人をまず増やす

## A班 「複合施設型バスターミナル」

- ・大きいお金をかけずに自分たちでやろうという空気があるが最後に出た意見は複合施設  
型バスターミナル
- ・マック、スタバ、ワタミ(有名居酒屋)がほしい 一度は口にしているが行政が絡む会議  
になると自分たちでなんとかしよう、お金をかけず自然を生かして、という方向になるので敢  
えて提案した
- ・あわらしい=芦原温泉 お客さんだけでなく市の予算も芦原温泉に回っているという感  
情を持っている人もいる。その綱引きをいつまでやってもあわらしさにはならない
- ・芦原温泉という場所があることは間違いない。それをいかに駅を降りた人がスムーズに利  
用できるか(シャトルバスの整備など)
- ・地元の人が欲しいといっている都会にあるけど芦原温泉駅前にはないもの
- ・北の玄関口と言われ東尋坊、恐竜博物館、永平寺、芦原温泉など嶺北の主要駅であ  
ると言う現実もみながらほしいものはほしいといいたい

## F班 「ちょっと歩かせるしくみ」おもてなしのあわら

- ・どうしたら皆さんが街の中を歩いてくれるかを考えて話を進めた
- ・駅からバス停(旅館の送迎バス)を少し離す、そのうえで駅前のメイン通りにアーケード  
をつくる
- ・ひどい雨の日に年配の人が荷物を持って傘をさして歩きたいのか
- ・駅を降りてすぐバスに乗ってしまうと、  
まったく街の顔を見る機会がないまま温泉街に向かってしまう 寂しい
- ・駅にエレベーターができる前はあわらスマイルサポートという  
手荷物のポーターサービスがあった。従事していた人はその仕事に誇りを持っていた。ポー

# 議事録要旨

ターは観光客に声をかけて階段の上り下りをサポートする仕事だったが、そういう人が商店街を案内しながらバス停まで誘導する仕組みがあると良い

## < 講評 >

・6組中3組に大きな施設を建てようという案が残った。珍しい(他の市民ワークショップでは少ない)これを無視してソフト中心で進めていいのか自問自答、要望があるのは必要なのかも

・ある大手広告代理店の入社試験で「桃太郎が鬼の悪さを止めるためもう一人仲間を加えるなら誰を連れて行くか」という問題があった。ほとんどがサル、キジ、犬より強い動物を連れて行くという回答、これは複合施設(ハード)を作って対抗しようという考え方。模範解答とされたのが、鬼のお母さん。これはソフトであり柔らかな提案。一方通行や歩かせる仕組みがそう。視点を変えるとコストをかけずにできることもあるし、コストをかけないとできないこともある

・施設の話、面白い。バスのしくみはアイデアとしてある。生活インフラ、新幹線もインフラだけ人を運ぶだけでお金を運んでくるわけではない。

・金沢に新幹線が来て劇的に変わったのは観光客が大量に歩いている。金沢の公共バスはわかりにくくて使いにくい。市民も理解していない

・東京から来る人は10分、15分平気で歩く その先に目的があれば歩く

京都は観光客が多く観光資源が多いけど、あわらの方が人のやさしさ、陽気さが勝っている。あわらは住民に魅力があると感じた

・あわららしさをこれから作っていききたい。建物を建てたからできたというのではなく、これから長い時間をかけて作っていけるといい

・歩かせることもその一つかもしれないし、建物かもしれない 方向性をみんなで決められたら

## < 最後に >

進行役：

みなさまから見たご意見をアイテムとして、仕組みを含めた絵というのを進めてまいりたいと思います。本日はどうもありがとうございました。